

JB Customer Report

カスタマーレポート

ORPHIS FW

岐阜県内で、実際に機械をご導入いただいたお客様の「生の声」をご紹介します！

取材：営業部 営業企画支援課

富加町社会福祉協議会 様

富加町社会福祉協議会の様に平成28年7月に導入されたORPHIS FW5230の感想を伺いました。

富加町社会福祉協議会様は、

①「共に生きる社会の実現」

②「地域が取り組む活動の強化」

③「地域福祉活動の主体となる団体、個人との連携・協働」の基本方針のもと、住みなれた町で、だれもが安心して暮らせる地域づくりのために、地域の方への福祉活動事業をより推進されており、2016年4月から新たに県下初の「いきいきトレーニングプラザ」の介護予防事業を開始し、地域に密着した活動を強化されています。

地域の方が住みやすい環境にするために

5年程前に使用していた印刷機と複合機を一元化し、当時から印刷コストが安く・印刷処理が早い「ORPHIS FW5230」の導入を検討しましたが、コストが安いといってもカラー印刷はいわば贅沢品という認識が世間であり、導入を躊躇していました。

しかし、チラシや広報誌などを作成し配布するにあたり、**地域の方がみやすく・わかりやすいものでなければ意味がない**と原点に立ちかえり、行政のカラー化の動きも相まって「ORPHIS FW5230」を導入しました。「ORPHIS FW5230」の導入にあたってはカラー＝贅沢品という認識がまだまだ存在しているため、社会福祉協議会の中でしっかり決め事をして管理しながら運用しています。誰もが使用出来る環境であるからこそ管理は大事ですね。

(カラー印刷については許可制*配布資料や会議資料のカラー印刷やワンポイントカラーについては許可されています)

福祉活動事業強化のために印刷作業を時短出来ないか？

従来の印刷機でも十分な印刷スピードでしたが、**両面印刷や丁合など手作業での一手間が煩わしく、ページが多く作成部数が多い「決算書類」、「予算書類」などは印刷から仕上げまで2、3日かかっていた**が、「ORPHIS FW5230」を導入してからは作業を半日で終える事ができる為、その効率化出来た時間をより地域の方とのコミュニケーションに還元が出来るのではないのでしょうか。またORPHISは冊子機能もワンタッチで行えるため、見やすい資料にするため単ページ資料も冊子にするなど活用の幅が広がっています。

地域の方との連携を強化するために

近年、少子高齢化によって取り巻く環境は大きく変化しており、課題が増える一方でさまざまなサービス・事業も増加しており、富加町社会福祉協議会でも地域福祉の担い手と連携・協働しながら地域福祉活動を強化いく必要があり、その一貫として利用団体へのORPHISの印刷機器の使用開放を行っています。さまざまな印刷が出来るORPHISであるからこそ今後も利用団体と連携を強化するツールとして活用していきたいです。

今後求める事

機器に対しては何かあればジムブレンさんがすぐ駆けつけてくれるので安心ですが機械への負荷等を考慮して、とみか社協だよりや封筒(宛名を含む)などはまだ印刷をしてはけません。安定して使えるようになれば、ジムブレンさんの力もお借りしつつORPHISの価値を高めていきたいですね。

営業担当者の声

営業担当：三ツ岡 大輔



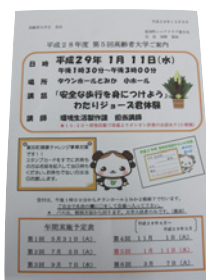
地域の方にどのようにしてわかり易く情報を伝える事が出来るのか。僅かな時間の中で如何に印刷作業の負担を減らしながら速く印刷するか。印刷環境の悩みを1つでも多く解決出来ればと思います。

効率化出来た時間をより地域の方とのコミュニケーションに還元が出来るのとこのことで私も嬉しく思います。

今後は、現場の方はもちろん利用団体の方にもORPHISを快適にご利用頂けるよう提案して参ります。



しっかり管理するために、守ってほしいルールを印刷し、機械に貼っています。



カラフルなチラシだと、目に入りやすく印象にも残りやすい！